

あ さ ひ か わ

市議会

ASAHIKAWA CITY COUNCIL NEWS

だより

発行：旭川市議会 〒070-8525 旭川市7条通9丁目48番地
編集：広聴広報委員会 電話 (0166)25-6380 FAX(0166)24-7810

旭川市議会ホームページアドレス

<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/council/index.html>

旭川市議会

検索



CONTENTS

主な
内容

- 主な議案のあらまし……………2
- 一般質問……………3
- 大綱質疑、決算審査特別委員会……………6
- 第3回定例会に提出された議案と
その結果……………7
- 賛否の一覧、請願・陳情……………8
- 常任委員会からのお知らせ……………9
- 議会の動き・トピック……………10

第122号

令和7年(2025年)
12月15日

議場コンサートを開催しました



本市議会では、本市の文化・スポーツの振興に資することを目的に、旭川市議会文化・スポーツ議員連盟を組織しています。その活動の一環として、10月20日に庁舎移転後初めての旭川市議会議場コンサートが開催されました。

3年ぶりの開催となった今回は、ウズベキスタン伝統音楽の R.M. グリエル記念共和国音楽専門学校生にご出演いただきました。議場内に響き渡るウズベキスタン伝統音楽の情緒あふれる調べにご来場の皆様も魅了され、素晴らしいひとときとなりました。

第3回定例会

主な議案のあらまし

本市議会は、令和7年第3回定例会を、9月26日から10月23日まで、28日間の日程で開催しました。

今定例会では、市長から提出された令和6年度各会計決算、令和7年度各会計補正予算、条例の改正・廃止、変更契約の締結、人事及び報告の計36件の議案と、議員から提出された議員の派遣、意見書、決議案の計11件の議案を審議し、議員から提出された意見書の5件を否決したほかは、いずれも原案どおり決定しました。

●令和6年度各会計決算

令和6年度は、市民生活の安全・安心、子育て支援、地域経済対策、DX・行財政改革などに重点的に財源を配分するとともに、物価高騰下での生活者や事業者への支援など、補正予算を7回取りまとめました。

また、事業執行に当たっても、持続可能な財政基盤の確立に向け、最少の経費で最大の効果を挙げられるよう努めてきました。

予算執行状況については、一般会計では、実質収支で14億7,559万6,118円の剰余、企業会計を除く7特別会計の実質収支で8億2,171万122円の剰余を生じました。

企業会計のうち水道事業会計では、収益的収支で9億8,270万7,620円の剰余、資本的収支で35億9,257万1,439円の収支不足を生じました。

下水道事業会計では、収益的収支で3億5,989万2,753円の剰余、繰越工事資金3万1,600円を除いた資本的収支で27億4,859万6,307円の収支不足を生じました。

病院事業会計では、収益的収支で13億7,798万6,896円の収支不足、資本的収支で5億9,087万3,377円の収支不足を生じました。

各企業会計の資本的収支における収支不足は、いずれも損益勘定留保資金等で補填しています。

●補正予算

○令和7年度一般会計に6億9,153万3,000円を追加

今回の補正は、一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計です。

このうち一般会計の内容は、障害者自立支援給付費、国民年金費、保育の質向上推進体制整備費、中園廃棄物最終処分場解体撤去費、道路側溝整備費などであり、

歳入歳出予算の総額それぞれに6億9,153万3,000円を追加し、令和7年度一般会計予算の総額を1,811億7,876万4,000円とするものです。



●条例の改正・廃止

○旭川市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

一般病床数を変更するために、条例の一部を改正しようとするものです。

○旭川市21世紀の森施設条例の一部を改正する条例

令和7年12月1日をもって森林学習展示館を廃止するために、条例の一部を改正しようとするものです。

○旭川市空家等及び空地の適切な管理に関する条例の一部改正

緊急安全措置に係る規定を整備するために、条例の一部を改正しようとするものです。



○旭川市手数料条例及び旭川市建築基準法施行条例の一部改正

建築基準法施行令の一部改正に伴い、引用条項を整備するものです。

○旭川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部改正

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正等に伴い、引用条項等を整備するものです。

○旭川市春日青少年の家条例を廃止する条例

野外活動施設として利用されてきた旭川市春日青少年の家について、令和7年11月1日をもって施設の運用を廃止するために、条例を廃止しようとするものです。

●その他

○変更契約の締結(1件)

既に締結している工事について、インフレーション(物価上昇)に対応するため、契約金額を増額するものです。

○第2豊岡団地建替(3)新築工事

変更前 12億670万円

変更後 12億3,169万149円

●人事

○教育委員会委員の任命

次のとおり同意しました。

鎌本 かおり 氏



一般質問

一般質問は、定例会で議案に関係なく、市政の諸問題や将来の見通しなどについて市の考えを聞くものです。

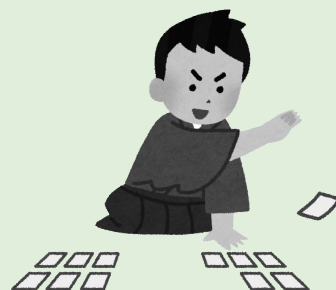
今定例会では、10月3日、6日及び7日の3日間にわたり14人の議員が質問しました。その中から主な質問と答弁をお知らせします。

今定例会の質問者(発言順)

- ① **金谷 美奈子(民主・市民連合)**
 - ・子ども食堂と物価高対策について
 - ・新米の価格上昇による市民への影響等について
 - ・下水道汚泥肥料におけるPFAS汚染の危険性等について
 - ・全国高校総体女子サッカー大会について
 - ・花咲スポーツ公園新アリーナの課題について
- ② **江川 あや(民主・市民連合)**
 - ・こどもの安心安全を守る取組について
 - ・マテリアルリサイクルの考え方について
 - ・誰ひとり取り残さないまちづくりに向けて
- ③ **石川 厚子(日本共産党)**
 - ・市長の政治姿勢について
- ④ **中野 ひろゆき(公明党)**
 - ・市長の政治姿勢について
 - ・特定技能などの外国人材の受入れ状況と課題及び今後の取組方について
 - ・観光振興と今後の先進的な取組について
 - ・北海道新幹線の旭川延伸に向けた取組について
 - ・脱炭素の推進とGXなど成長分野に関連する産業集積の取組について

- ・不登校児童生徒の現状と今後の支援策について
 - ・公共施設及び街頭防犯カメラの設置について
- ⑤ **中村 みなこ(日本共産党)**
 - ・旭川市の労働の実態について
 - ・総合庁舎周辺の点字ブロック設置について
 - ⑥ **駒木 おさみ(公明党)**
 - ・旭川空港を拠点とする交流人口の拡大と地域の活性化について
 - ・持続可能な旭山動物園について
 - ・若者の貧困と自立支援に関する包括的施策等について
 - ⑦ **横山 啓一(無所属)**
 - ・旭川市の財政と教育予算の課題について
 - ⑧ **いしかわ まさき(自民党・市民会議)**
 - ・投票率の向上と政治活動の環境づくりについて
 - ・あさひかわ菓子博2025がもたらした地域への効果と今後について
 - ⑨ **皆川 ゆきたけ(公明党)**
 - ・電動ストレッチャー導入による救急の質向上について
 - ・子どもの健やかな成長と不登校予防につなげる「睡眠教育」の推進について
 - ・市民と職員を守る市有施設の暑熱対策について

- ⑩ **沼崎 雅之(自民党・市民会議)**
 - ・健幸福祉都市の実現に向けて
 - ・有機米について
- ⑪ **高橋 ひでとし(自民党・市民会議)**
 - ・公共施設マネジメントについて
 - ・町内会の在り方について
 - ・旭川いじめ事件の解決に向けた本市の取組について
- ⑫ **あべ なお(自民党・市民会議)**
 - ・子ども議会について
 - ・本市の農業と国営緊急農地再編整備事業について
- ⑬ **植木 だいすけ(旭川市民連合)**
 - ・人口減少と地域の暮らしについて
 - ・災害と防災庁誘致について
- ⑭ **塩尻 英明(旭川市民連合)**
 - ・北海道遺産に選定された下の句歌留多の普及と継承について
 - ・ごみステーションの維持管理について
 - ・居住支援協議会について



①花咲スポーツ公園新アリーナの課題

問 新アリーナについて、非保有方式にした場合、どの程度の期間利用するのでしょうか。また、市民の利用料金が高くはないのでしょうか。市の見解を聞かせてください。

答 新アリーナの利用期間につきましては、他都市の類似事例では30年間となっており、本市でも同程度と想定しています。都市公園内での設置管理許可期間は10年を超えないこととされていることから、更新に当たっては、事業者の運営状況や本市のスポーツ需要及び実施状況を踏まえ、判断していくこととなります。

また、市民の施設使用料については、八戸市の多目的アリーナの事例になりますが、市が確保した市民利用枠について市が条例で使用料を定めており、この金額は他の類似の市有施設と同等の金額となっています。

本市においても、求める公共利用の内容は検討中ですが、市民の利用に際し過度な負担が増えないよう、事業者の提案内容の審査や今後の協議を進めていきたいと考えています。【観光スポーツ部長】

②こどもの安心安全を守る取組

問 令和8年4月から、自転車への交通反則通告制度が導入され、飲酒運転などの重大な違反や事故を起こしたとき以外の悪質、危険な違反者に青切符が交付されます。今後は車道を走る機会が増えるため、啓発活動が重要になると考えられますが、市の見解を聞かせてください。

答 未就学児、小学生、中学生に対しては、幼稚園や保育所、学校で、その年代に合わせた交通安全教室を実施しています。保護者に対する交通ルールの啓発も非常に有意義であると考えられることから、希望される一般の団体や企業も対象に教室を用意しており、交通安全運動期間に合わせて、町内会で回覧をしていただく広報紙に募集案内等を掲載しているところですが、今後は、PTAの集まりや交通イベントなど、あらゆる機会を通じて教室の場を広げていけるように周知していきたいと考えています。【防災安全部長】



③市長の政治姿勢

問 市長は、2期目の公約の1番目に、市民の暮らしや社会経済を支える物価高騰対策の迅速かつ着実な実行を掲げられ、10月から11月には方針について結論を出したいと答えられていましたが、今回の補正予算では物価高騰対策は何ら示されていません。物価高騰対策として、市長はまず何に取り組みたいと考えているのか、市長の見解を聞かせてください。

答 本市独自の物価高騰対策につきましては、生活者や事業者への影響に加え、国の対策や市民の皆様からいただいた御意見等を踏まえ、真に支援が必要な方により効果的に支援が行き届くよう、内容や規模等をしっかりと検討し、対応していきたいと考えています。【市長】

④特定技能などの外国人材の受入れ状況と課題及び今後の取組

問 本市における外国人材の受入れは、人材不足などを背景に、介護、建設、農業などの分野で進んでいると認識していますが、雇用の安定をはじめ、市内経済の更なる活性化を図るためにも先進的な施策の展開が必要であると思います。外国人材の受入れを円滑に進めるための各種施策について、市長は今後どのような方針を持って検討を進めているのか、また、旭川で働く外国人の生活環境充実や地域社会との共生を図るための具体的な取組についても見解を伺います。

答 外国人材は、地元企業の人手不足解消に重要な役割を担っており、単なる労働力としてではなく、地域社会を構成する一員として受け入れ、日本人と外国人が互いに尊重し、安全、安心に暮らせる共生社会を実現していくことが重要であると考えています。

国においては、日本が魅力ある働き先として選ばれる国になるような環境を整備していくこととしているところですが、本市では、フィール旭川7階の旭川市国際交流センターにおいて、暮らしに関する相談対応、語学教室や交流事業を行うとともに、昨年度には、旭川未来会議2030外国人分野において、本市に在住する外国人の皆様から暮らしやすい旭川に向けて様々な御意見をいただいたところであり、今後も増加していくことが見込まれる外国人材の確保、地域社会との共生に向けて、必要な取組について検討していきます。【市長】

⑤総合庁舎周辺の点字ブロック設置

問 点字ブロックが歩道から入口までつながっているのは、総合案内前の入口に限定されています。なぜそうにしているのか、また、今後点字ブロックの増設などの改善策を図るべきではないかと考えますが、市の見解を聞かせてください。

答 庁舎周辺の点字ブロックは、総合案内のある出入口の前まで誘導するよう設置しています。その理由としては、新庁舎の建設にあたってユニバーサルデザインの観点、障害や子育てなど様々な団体との意見交換を参考に、総合案内前の出入口は、扉や通路を広くとり、介助者が付き添っている場合でも、建物に出入りしやすいようにしていることや、その周囲の壁をガラス張りにして、案内職員による迅速な介助につなげることを目的としているためです。

また、点字ブロックの整備については、今年の冬にも供用開始する来庁者駐車場では、タクシーの乗降場所や障害者用駐車場が総合案内前出入口付近に整備されるため、そうした利用状況や市民の声を見極めて検討していきたいと考えています。【総務部長】



⑥旭川空港を拠点とする交流人口の拡大と地域の活性化

問 市として、旭川空港の拠点性を更に高めるための路線誘致にどう取り組んでいくのか。また、交通ネットワークに欠かせない公共交通機能の維持に向け、どのような取組を進めていくのか、見解を聞かせてください。

答 旭川空港の路線拡充については、北海道エアポートなどと連携し、国内線は関西や名古屋方面の路線の期間拡大や通年化を目指すとともに、国際線はアジア圏を中心に誘致活動を進めていきます。

また、2次交通対策につきましては、本年度、バス事業の運行支援やバス無料DAYなどの利用促進、運転手確保の取組のほか、利用券を活用したタクシーの利用促進や、助成制度による鉄道利用の取組などを進めており、今後も市民生活や観光客の移動を支える公共交通の維持に取り組んでいきます。【地域振興部長】



⑦旭川市の財政と教育予算の課題

問 本市の小中学校73校について、築50年を超える校舎は15校、約20%もありますが、これらの校舎の改築については、どのような計画を持っているのか、また、そのための予算確保についてはどのような考え方をしているのか、市の見解を伺います。

答 学校施設については、老朽化に伴う設備の更新や修繕に加え、冷房設備整備や非構造部材の耐震化といった課題があり、73校の小中学校を抱える本市においては短期間で実施することが難しい状況にあります。

このため、経費縮減と財政負担の平準化を図るとともに、求められる機能や性能を維持するため、旭川市学校施設長寿命化計画を令和3年3月に策定しています。令和7年度末で豊岡小学校の屋体増改築工事の完了により、全ての小中学校の構造体の耐震化が完了することから、学校施設の長寿命化に計画的かつ効果的に取り組むため、他都市の事例を踏まえ、必要な予算の確保について市長部局と協議をしていきます。【学校教育部長】

⑧投票率の向上と政治活動の環境づくり

問 本市では期日前投票所に商業施設を利用していることから、二重投票防止策を講じることができれば、それほど新たなコストをかけずとも、利便性の高い商業施設で共通投票所を設置できる可能性は高いと考えられますが、市の見解を聞かせてください。

答 本市の期日前投票所は、商業施設を含め、12か所をネットワーク化することで二重投票防止対策が可能となっていますが、現在の期日前投票所においても、利用者が集中すると回線が不安定になる場合がありますので、79か所をネットワーク化することはシステムダウンや回線不良のリスクが更に高まります。また、現状では、本市の規模に対応するシステムが開発されていないため、ネットワーク化による共通投票所は課題が大きいと考えています。

このため、本市で共通投票所を設置する場合には、他都市で行っている電話等での通信手段で二重投票の有無を確認する方式が考えられますが、確認のために多少時間がかかるなどの課題があります。共通投票所は利便性の向上に寄与するものと考えていますので、どのような方法が本市に適しているのか、検討していきます。【選挙管理委員会事務局長】

⑨電動ストレッチャー導入による救急の質向上

問 消防では職員の高齢化が進み、あわせて、女性職員の採用も増えているとのことですが、電動ストレッチャーの導入により、患者や救急隊員への身体的負担が大幅に軽減され、安全に業務を遂行できるとともに、女性職員のより一層の活躍推進にも効果を発揮し、救急体制の強化にも大きくつながるのではないかと考えますが、市の見解を聞かせてください。

答 道内で既に電動ストレッチャーを導入している消防本部では、隊員の身体的負担が軽減されたという意見が多いことから、これからの職員の高齢化や女性職員の活躍推進を踏まえると、大変有効な資機材であると認識しています。



また、このことにより、結果的に搬送される傷病者への救急サービスの向上も期待できることから、ご提案のとおり、来年度以降、試験的に導入し、課題を検証した上で、将来的に標準化して導入を継続するか検討していきます。【消防長】

⑩健康福祉都市の実現に向けて

問 旭川市における新生児聴覚検査の自己負担額は、周辺自治体よりも高額になっています。市長の選挙公約にも、新生児聴覚検査の支援拡充が盛り込まれていましたが、今後どのようにご検討されていくのか、周辺自治体並みの水準への増額も視野に入れているのかどうか、今後の見通しを聞かせてください。

答 新生児における発見の遅れがその後の言語発達や学習に大きな影響があるとされていることから、聴覚障害による音声言語発達等への影響を最小限に抑えたいという要望の趣旨は、しっかりと受け止める必要があります。

助成額の引上げについては、新年度の予算編成において、要望の趣旨も踏まえ、他自治体や周辺市町村の助成額、そして市内医療機関の検査額などを考慮し、しっかりと検討していきたいと考えています。【副市長】

⑪町内会の在り方

問 社会構造の変化に伴い、町内会への加入率は年々低下しています。解決策としては、町内会の組織変更やスリム化、DX化などが考えられますが、こうした取組を市として促していくことについて、市の見解を聞かせてください。

答 町内会を持続可能なものにしていくため、町内会業務の負担軽減やデジタル化は欠かせない要素であると認識しており、他都市や他地域の事例を紹介するほか、負担軽減に向けた方策について提案し、市からお願いしている資料の回覧や様々な会議体への参加についても庁内で調査、整理して地域負担の軽減に向けた取組を検討していきます。

また、電子回覧板や町内会役員チャットなど、町内会業務の負担軽減に役立つ機能を搭載した、あさひかわくらしのアプリを令和5年にリリースし、これまでも利用拡大に向けた操作説明会やスマホ教室を併せて開催してきました。今年度からは、町内会業務の負担軽減を図るため、AIの活用方法について紹介するセミナーも開催しています。

今後も、地域活動におけるDXを進めていきます。

【市民生活部長】

あさひかわくらしのアプリ	
iPhone 版	Android 版

⑫本市の農業と国営緊急農地再編整備事業

問 気候変動や高齢化に後継者不足と、農業を取り巻く環境は大きく変化しています。スマート農業を導入し、次世代の農業へ向かう過渡期である今、市長として、本市の農業の未来をどのように描いているのか、考えを伺います。

答 旭川村が誕生してから135年、厳しい環境の中で、本市の農業を守り、発展させてこられた農業者の皆様の御努力に心から敬意を表します。

近年では、高齢化、後継者不足、耕作放棄地、気候変動など様々な課題も抱えておりますが、私自身、これまで多くの農業関係者の方々と意見交換を行い、その声を反映させるため、農業基盤整備やスマート農業の推進、販路拡大、オーガニックビレッジ、高収益作物支援等に取り組んできました。

農業が持つ多面的機能を守っていくことは、本市を守っていくことにつながると考えています。今まで以上に農業関係者の方々の声を事業等に反映させるとともに、地域の現状や必要な支援等について国にしっかりと訴え、所得が向上し、持続可能な農業を確立できるよう、大きな可能性を持つ本市農業を更に発展させていきたいと考えております。【市長】



⑬災害と防災庁誘致

問 国は令和8年度中の防災庁設置を目指し、地方への拠点や分局の設置を検討中ですが、地方拠点の誘致に当たって、本市の強みと広域を含めた意義についてどのように考えるか、また、今後の取組の方向性についてお示しください。

答 防災庁の地方拠点誘致について、上川地域が持つ台風や大地震などの災害発生が少ないこと、北海道の中心部に位置する立地特性と、公共交通等、都市機能の充実、豊富な農畜産物を生かした食料備蓄、陸上自衛隊第2師団が常駐していることなど、その強みを存分に発揮することができるとともに、本地域のみならず、全道、そして東日本の災害応急対策にも貢献できる取組と考えています。

本年7月に中央要望に行った際には、国から、令和8年度の防災庁設置は進めているが、地方拠点については、具体的な検討は今後になるとの説明を受けています。

今後も、令和8年度に設置予定の防災庁の内容も含めて、情報収集に努めるとともに、北海道とも連携を密に図りながら、国の状況を見極め、上川地域全体で国や国会議員等に対して誘致活動を行っていく考えです。【市長】

⑭北海道遺産に選定された下の句歌留多の普及と継承

問 北海道遺産に選定された下の句歌留多の活動について、旭川市として文化の継承につながるような取組に対しての支援や協力について、どのように考えているのか、見解を聞かせてください。

答 かるた競技は、厳格な雰囲気の中での対戦や、緊張感の下で礼節やチームワーク等を学ぶことができ、世代を超えた交流や人間関係を体験するきっかけにもなっており、年齢や性別を問うことなく、競技を通して楽しみながら日本古来の文化に親しむことに加え、地域コミュニティの発展の場としても意義があるものと認識しています。

これまでも、下の句歌留多の大会の開催に当たっては、教育長賞の授与や教育委員会の後援なども行っており、引き続き、下の句歌留多の普及活動に対して必要な支援、協力等を行っていきます。【社会教育部長】

大綱質疑

今回の大綱質疑は、決算審査特別委員会に付託する議案に対して質疑するものです。今定例会では、10月8日に2人の議員が質疑しました。

その中から主な質疑と答弁をお知らせします。

今定例会の質疑者（発言順）

① まじま 隆 英（日本共産党）

- ・令和6年度一般会計決算について
- ・令和6年度特別会計決算について
- ・令和6年度公営企業会計決算について

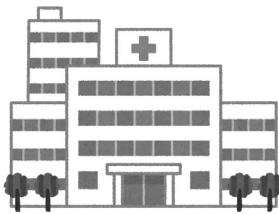
② 江 川 あ や（民主・市民連合）

- ・認定第1号 令和6年度旭川市一般会計決算の認定について
- ・認定第11号 令和6年度旭川市病院事業会計決算の認定について

①市立病院の経営状況

問 市立病院の経営状況について、どのように受け止めているのか、また、今後どのような支援を行っていくのか、市の見解を聞かせてください。

答 病院事業会計は、令和6年度決算において資金不足比率が算定されるに至ってお



り、大変厳しい経営状況にあるものと受け止めています。

物価高騰や人件費の上昇などの影響による費用の増加が著しい一方で、公定価格である診療報酬がこうした費用の増加に見合っていないことが背景にあり、全国的な課題となっているため、市長会などを通じ、医療機関への財政支援や診療報酬の適切な見直しなどについて要望を行っているところですが、今後とも、様々な場面を捉え、国等に働きかけていくとともに、設置者として積極的に関わりながら、安定的な病院経営を目指して共に取り組んでいきます。【市長】

②令和6年度決算を踏まえた今後の方向性

問 多くの部分で財政面ではより苦しくなっているように感じます。今後の人口動態を考えると、社会を支える役割を担う働く人の減少と税収の減が予想される中で、更なる財政の圧迫をいかに抑え、今住んでいる人たちを守ることでできる旭川をつくっていくか、市の見解を聞かせてください。

答 人口減少下においても、市民の安心や地域経済の活性化を図り、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めていくためには、農業や産業、都市基盤、自然、スポーツ環境といった、本市が持つ多くの魅力を力に変えて市政運営を行っていくことが重要であると考えています。

令和6年度決算を受けて失敗したと感じている部分はありませんが、財政面については様々な課題があると認識しており、今後も、市民の安心と未来への投資の両立を念頭に、財政基盤の強化に加え、施策の優先順位をしっかりと見極めて、人口減少下にあっても活気あふれる新時代・旭川を創り上げていくために取り組んでいきます。【市長】

決算審査特別委員会（委員長：杉山 允孝 副委員長：上野 和幸）

令和6年度各会計決算の認定議案11件は、10月8日に「決算審査特別委員会」（委員33人）を設置し、同日に総務経済建設、民生子育て文教の2分科会を設置した後、付託議案を両分科会で分担し、8日から17日までの間に、それぞれ分科会を6回開催し、質疑等を行いました。

その後、10月21日の決算審査特別委員会で総括質疑を行うなど、慎重に審査を行い、いずれも原案どおり認定すべきものと決定しました。

●各分科会での主な質疑

●総務経済建設分科会

- ・イベントにおける庁舎等の利活用について
- ・旭川空港におけるグランドハンドリング体制の安定的な確保と支援について
- ・市職員の中途退職の状況と要因について
- ・ふるさと納税における物納寄附とマイセンコレクションについて
- ・物価高騰の影響と自主財源の確保について
- ・中心市街地活性化に係るまちにち計画の取組について
- ・旭川市史デジタルアーカイブ事業の成果と今後について
- ・女性の居場所づくり事業に係る取組の成果と課題について
- ・周辺に悪影響を与える空き家への市の対応について

- ・除雪費の決算状況と今後の雪対策について
- ・スタートアップ事業者への支援について
- ・永山中央公園の再整備とインクルーシブ遊具導入の考え方について
- ・空き家対策の在り方について
- ・野菜農家への支援について

●民生子育て文教分科会

- ・介護予防高齢者聞こえ支援モデル事業の実施結果と今後の取組について
- ・福祉除雪ボランティアマッチング事業について
- ・中園廃棄物最終処分場の周辺環境保全対策について
- ・国民健康保険制度の課題と出産手当金の導入及び特定健診受診率向上の取組について
- ・新型コロナワクチンの接種と健康被害救済制度について

- ・次世代総合窓口に向けた取組について
- ・地域共生社会の実現に向けた取組について
- ・教育環境の充実に向けた学校備品の購入について
- ・優佳良織の担い手確保及び技術伝承に対する支援について
- ・ICTを活用した教育活動について
- ・市民文化会館及び公会堂の運営と新文化ホールの整備について
- ・ジオパーク構想の推進と博物館の拠点施設化について
- ・愛育センターの運営状況と今後について

●総括質疑

- ・高台小学校PFI整備事業の評価について
- ・花咲スポーツ公園新アリーナ整備の妥当性と事業手法の決定経過について

第3回定例会に提出された議案とその結果

件名	結果	件名	結果
◆ 令和6年度旭川市一般会計決算の認定について	認定	◆ 旭川市幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
◆ 令和6年度旭川市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	〃	◆ 旭川市春日青少年の家条例を廃止する条例の制定について	〃
◆ 令和6年度旭川市動物園事業特別会計決算の認定について	〃	◆ 変更契約の締結について（第2豊岡団地建替（3）新築工事）	〃
◆ 令和6年度旭川市公共駐車場事業特別会計決算の認定について	〃	◆ 旭川市教育委員会委員の任命について	同意
◆ 令和6年度旭川市育英事業特別会計決算の認定について	〃	◇ 議員の派遣について	可決
◆ 令和6年度旭川市介護保険事業特別会計決算の認定について	〃	◆ 令和6年度決算に基づく健全化判断比率の報告について	報告済
◆ 令和6年度旭川市母子福祉資金等貸付事業特別会計決算の認定について	〃	◆ 令和6年度決算に基づく資金不足比率の報告について	〃
◆ 令和6年度旭川市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	〃	◆ 専決処分の報告について（損害賠償の額を定めること）	〃
◆ 令和6年度旭川市水道事業会計決算の認定について	〃	◆ 専決処分の報告について（損害賠償の額を定めること）	〃
◆ 令和6年度旭川市下水道事業会計決算の認定について	〃	◆ 専決処分の報告について（損害賠償の額を定めること）	〃
◆ 令和6年度旭川市病院事業会計決算の認定について	〃	◆ 専決処分の報告について（変更契約を締結すること）	〃
◆ 令和7年度旭川市一般会計補正予算について	可決	◇ 問責決議について	可決
◆ 令和7年度旭川市国民健康保険事業特別会計補正予算について	〃	◇ 義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める意見書について	否決
◆ 令和7年度旭川市介護保険事業特別会計補正予算について	〃	◇ 市民生活を支える地域公共交通政策の維持・充実のための財政措置拡充を求める意見書について	〃
◆ 令和7年度旭川市後期高齢者医療事業特別会計補正予算について	〃	◇ OTC類似薬を保険適用から除外しないことを求める意見書について	〃
◆ 旭川市介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	◇ 将来にわたり安全、安心な医療・介護制度の提供を求める意見書について	〃
◆ 旭川市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	◇ 物価上昇に見合う老齢基礎年金等の引上げを求める意見書について	〃
◆ 旭川市21世紀の森施設条例の一部を改正する条例の制定について	〃	◇ 外国人を差別する排外主義を許さず、多文化共生社会の実現を目指す意見書について	可決
◆ 旭川市空家等及び空地の適切な管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	◇ 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書について	〃
◆ 旭川市手数料条例及び旭川市建築基準法施行条例の一部を改正する条例の制定について	〃	◇ リハビリテーション専門職の確保や処遇改善を求める意見書について	〃
◆ 旭川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	◇ ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実強化を求める意見書について	〃
◆ 旭川市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃		
◆ 旭川市乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃		
◆ 旭川市児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃		
◆ 旭川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃		
◆ 旭川市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃		

※◆は市長提出議案、◇は議員提出議案



賛否の一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ、掲載しています。

[illegible]

※賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「退」、法律により採決に加われない者は「－」としています。議長は採決に加わらないため、斜線としています。

請願 · 陳情

市政について意見や要望のあるときは、どなたでも請願（議員の紹介のあるもの）や陳情（議員の紹介のないもの）を提出することができます。

令和7年第3回定例会で新たに付託されたもの

- 総務常任委員会付託
 - ・旭川市神居古潭及び旭川駅裏における防犯カメラ及び夜間照明の設置を求めることについて（陳情第21号）
- 民生常任委員会付託
 - ・日の出倉沼地区の移動手段について（請願第2号）
 - ・旭川市の自然と市民参加を守るため、メガソーラー計画の見直しと説明責任を求めることについて（陳情第18号）
- 経済建設常任委員会付託
 - ・ポケモンGOリアルイベント開催に向けての協議を求めることについて（陳情第19号）
- 子育て文教常任委員会付託
 - ・出産前後の支援体制強化に関することについて（陳情第20号）

令和7年第3回定例会で取り下げられたもの

- ・ポケモンGOリアルイベント開催に向けての協議を求めることについて（陳情第19号）

議会の動き

令和7年6月27日から第3回定例会閉会日（10月23日）までの議会の動きです。

7 月		24 日		10 日		
22 日	・ 議会運営委員会	・ 経済建設常任委員会	・ 子育て文教常任委員会	14 日	・ 決算審査特別委員会分科会	
	・ 総務常任委員会				15 日	・ 決算審査特別委員会分科会
	・ 民生常任委員会					16 日
23 日	・ 経済建設常任委員会	26 日	・ 本会議（第 3 回定例会開会）	17 日	・ 決算審査特別委員会分科会	
	・ 子育て文教常任委員会				・ 広聴広報委員会	・ 決算審査特別委員会分科会
8 月		29 日	・ 議会運営委員会	・ 経済建設常任委員会		
19 日	・ 総務常任委員会	30 日	・ 本会議（補正予算等審議）	・ 広聴広報委員会		
	・ 民生常任委員会			・ 議会運営委員会		
	・ 経済建設常任委員会			20 日		
	・ 広聴広報委員会			21 日		
	・ 子育て文教常任委員会			・ 本会議（副議長選挙）		
9 月		1 日	・ 議会運営委員会	・ 議会運営委員会		
16 日	・ 議会運営委員会	2 日	・ 議会運営委員会	・ 決算審査特別委員会		
	・ 議会運営委員会	3 日	・ 本会議（一般質問）	23 日	・ 本会議（第 3 回定例会閉会）	
	・ 総務常任委員会	6 日	・ 本会議（一般質問）			・ 総務常任委員会
	・ 民生常任委員会	7 日	・ 本会議（一般質問）			・ 民生常任委員会
		・ 議会運営委員会	・ 子育て文教常任委員会			
22 日	・ 議会運営委員会	8 日	・ 本会議（大綱質疑）	・ 広聴広報委員会		
	・ 総務常任委員会			・ 決算審査特別委員会		
	・ 民生常任委員会			・ 決算審査特別委員会分科会		

※OTC類似薬・・・医療用医薬品でありながら、市販薬（OTC 医薬品）と成分や効能が似ている薬のことです。処方箋が必要ですが、公的医療保険が適用されるため、自己負担額がOTC 医薬品より安くなる場合があります。

常任委員会からのお知らせ

令和7年6月27日（第2回定例会閉会日の翌日）以降の各委員会における主な活動内容や協議経過等についてお知らせします。

総務常任委員会

委員長：高橋 ひでとし 副委員長：小林 ゆうき

総務常任委員会の活動について

委員会視察として、7月22日に旭川市立大学を視察しました。新学部設置に伴い新たに整備される予定の施設について、建築模型を確認しながら、担当者から設備や機能等の説明を受け、実際の建設状況も確認しました。

旭川市立大学の新学部については、これまで様々な議論がありましたが、令和7年8月29日に文部科学大臣から新学部設置の認可を受け、令和8年4月からの開設が正式に決定したことが、9月22日の本委員会において報告されました。

また、本委員会では、今後2年間にわたり、「産学官金連携によるまちづくりについて」と「人権条例に関する条例づくりについて」の2項目に取り組むこととなりました。初めての試みではありますが、活発な調査や議論を通じて、政策提言等につなげていきたいと考えています。



経済建設常任委員会

委員長：江川 あや 副委員長：皆川 ゆきたけ

スポーツの未来を拓く

スキー競技の練習環境づくりの意見交換

本委員会では、所管部局からの報告を受けるだけでなく、活発な議論を常に行っています。また、求めに応じて市民団体との意見交換会も行っており、9月24日には旭川テクニカルスキーアカデミーのヘッドコーチや指導者・保護者の皆様と意見交換を行いました。アルペンスキーや基礎スキーに真剣に取り組む選手たちが、世界最高級の雪質を誇るカムイスキーリンクスを拠点としつつも、荷物置き場や食事場所を含む施設や練習環境の課題、リフト券の学生料金の検討など、子どもたちの成長を支える支援の必要性について率直な意見が交わされました。

今後も現場の声を大切にし、課題解決と地域の活性化に力を尽くしてまいります。



民生常任委員会

委員長：笠井 まなみ 副委員長：植木 だいすけ

民生常任委員会の活動について

7月の民生常任委員会では、高齢者バス料金助成制度、生活保護費引下げ判決、市立旭川病院における不在者投票の遅滞事案などについて、報告及び質疑が行われたほか、令和7年10月1日に供用が開始された「旭川市リサイクルセンター」及び「近文清掃工場」の市内視察を実施しました。新たに整備された「旭川市リサイクルセンター」では、ごみの再資源化や環境負荷の低減に向けた最新設備を確認し、今後の廃棄物処理行政の方向性について理解を深めました。

8月の委員会では、中園廃棄物最終処分場の廃止、高齢者等に対する新型コロナワクチン定期予防接種の自己負担額見直し、市立旭川病院の病床数削減に伴う支援事業補助金の内示などについて報告がありました。

今後も、市民の暮らしを支える福祉・環境・保健行政の充実に向けて、引き続き丁寧な議論を重ねてまいります。



子育て文教常任委員会

委員長：塩尻 英明 副委員長：中村 みなこ

共に目指す市政の実現へ

8月の本委員会では、東旭川学校給食センター調理業務に係る公募型プロポーザルの審査結果等の報告、いじめの訴訟や重大事態についての報告と質疑、子ども医療費助成の申請についての質疑が行われました。

9月の本委員会では、第3回定例会の議案説明と、教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について、いじめの重大事態調査報告書の公表についての報告がありました。また、児童生徒への盗撮行為防止に向けた取組についての質疑が行われました。

また、9月11日には「旭川ユネスコ協会」の皆さんと懇談会がありました。当該協会は「青少年の育成」が活動の柱の一つであることから、本委員会への懇談会の申入れがあり、設定いたしました。当該協会の各種活動への理解推進を中心に、支援の在り方などについて懇談しました。今後も、各団体との意見交換等の機会を生かして共に目指す市政について考えていきます。

○ 議会構成が変更となりました ○

○旭川市議会議員補欠選挙により当選した議員をお知らせします。

9月7日に実施された選挙により、いしかわまさき議員が当選しました。所属常任委員会は経済建設常任委員会です。

○副議長の辞職

高見一典副議長から、9月30日に副議長の辞職願の提出があり、10月8日付けで辞職が許可されました。

○副議長の就任

10月21日の本会議において副議長選挙が実施され、品田ときえ議員(民主・市民連合 当選3回)が副議長に選ばれました。

○委員会委員の構成の変更

補欠選挙、副議長選挙に伴い、次のとおり委員会構成が変更となりました。

- ・議会運営委員会 中村 みなこ → 石川 まさゆき
- ・民生常任委員会 委員長 品田 ときえ → 笠井 まなみ
- 副委員長 笠井 まなみ → 植木 だいすけ

○会派役員の変更

副議長選挙に伴い、次のとおり民主・市民連合の会派の役員構成が変更となりました。

会長 金谷 美奈子 副会長 高橋 紀博 幹事長 上野 和幸
会計 江川 あや 顧問 高見 一典 品田 ときえ

経済建設常任委員会委員
いしかわまさき (51)



自民党・市民会議 当1
7条通9丁目48番地(旭川市役所)
☎ 25-9852 (議員控室)

副議長
しなだ
品田 ときえ



○ 議会中継がインターネットでご覧いただけます

●旭川市議会ホームページアドレス

<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/council/index.html>

議会中継をご覧になるには、「市議会を見る・聞く」に続いて「会議録・議会中継」を選択してください。

旭川市議会

検索



○ 議会を傍聴しませんか

本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。

●問合せ先

会議日程及び議事の内容：議会事務局議事調査課 (電話25-6318)

本会議及び委員会の傍聴：議会事務局議会総務課 (電話25-6380)

●本会議では、補聴装置、手話通訳及び要約筆記をご利用になれます。

補聴装置(受信機・イヤホン)は、傍聴受付の際にお申出ください。

手話通訳は傍聴予定日の3日前までに議会事務局議会総務課(電話25-6380・FAX24-7810)

又は一般社団法人旭川ろうあ協会(電話45-0757・FAX45-0760)へお申込みください。

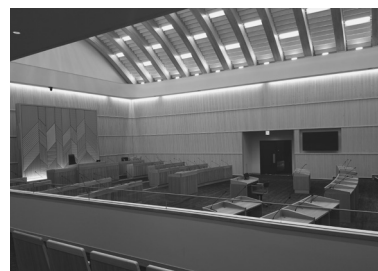
要約筆記は傍聴予定日の1週間前までに議会事務局議会総務課(電話25-6380・FAX24-7810)へお申込みください。

< 傍聴席での撮影・録音の禁止について >

旭川市議会では、議長の許可を得た報道関係者を除き、本会議及び委員会における傍聴人の写真、動画等の撮影及び録音を禁止しています。また、会議中は9階議場展望からの撮影も禁止となりますので、ご了承ください。



◀傍聴席から
見た議場



○ 「声のあさひかわ市議会だより」(CD) を無料で貸し出しています

目の不自由な方で、希望される方は、議会事務局議会総務課(電話25-6380・FAX24-7810)までご連絡ください。



あさひかわ市議会だよりは、広聴広報委員会が編集しています。市議会だよりに関する、市民の皆様のご意見をお寄せください。
(連絡先) 議会事務局議会総務課(電話25-6380・FAX24-7810)